

第1学年1組 図画工作科学習指導案

尾張旭市立渋川小学校 岡島叔子

単 元 かんじたことを（「あいパック」を使って）

目 標 ・さまざまな作品を見ることを楽しもうとする。

・自分が感じたことを話したり、友達の話共感的に聞いたりしながら、作品の形や色、イメージなどに気付くことができる。

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
12	<p>1. 学習の目当てをつかむ。</p> <p>(1) 《ポーランドの騎士》を見て話し合う。 ・この絵にはどんなものがかかれていますか。 ・どんな感じがしますか。どうしてそう思いますか。</p> <p>(2) 今日の目当てをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> かんじたことを ともだちや せんせいにはなそう </div>	<p>○「あいパック」のポスターを見せ、何が見えるかななどを自由に発表させる。</p> <p>○ここでは、題名・作者は簡単にふれる程度にし、画面そのものに注目させるようにする。</p> <p>○特に注目してほしいところには、虫めがねツールを使用して注目させる。</p> <p>○それぞれの見方で見ることを大事にさせ、どんな感じ方も否定せず、自由に話し合える雰囲気を作る。</p>
15	<p>2. アートカードを使った鑑賞活動をする。</p> <p>(1) 「仲間みつけをしよう」の活動について知る。 ア すべてのカードを表にして机に並べる。 イ 似ているところ、同じところがあるカード2枚を選んで、説明する。 ウ 説明して納得したらカードがもらえる。 エ 机の上のカードがなくなったら終了。カードの多いほうが勝ち。</p> <p>(2) それぞれのグループでゲームを楽しむ。</p>	<p>○「あいパック」のアートカードを、グループに1セットずつ配布し、カードの作品を自由に見る時間をとる。</p> <p>○ゲームは勝ち負けではなく、説明できることが大切なことを押える。</p> <p>○説明できないときはパスしてもよいことや、カードが少なくなり、全員がパスすることになっても終了とすることなども補足する。</p> <p>○一人ひとり見方や感じ方が違っていても良いことや、違ったとらえ方や感じ方も大切なことに気付かせ、見ることの楽しさを味わえるようにする。</p>
13	<p>3. アートカードを使ってお話をする。</p> <p>(1) 「お気に入りを見つけよう」の活動について知る。 ア すべてのカードを表にして机に並べる。 イ 自分が気に入った作品を1枚選ぶ。 ウ 好きな作品とその理由をグループの友達に話す。</p> <p>(2) 作品を選んで、クラスみんなに話す。</p>	<p>○各自の好きな作品や気になる作品を選ばせ、その理由が言えるように練習する。その際、国語の「わけをはなそう」で学習した文を思い起こさせる。</p> <p>○作品の形や色に注目させ、どんなところが気に入ったのか、具体的に話せるように支援する。</p> <p>○友達の発表をよく聞き、同意をしたり、自分とは違うことを感じたりすることが大切であることを押える。</p>
5	<p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 今日の活動について、感想を発表する。</p> <p>(2) これらの作品は愛知県美術館にあることを知る。</p> <p>(3) カードを片付ける。</p>	<p>○作品に関する多様な見方、感じ方を実感させることで、今後の鑑賞学習の意欲につなげる。</p> <p>○美術館はどんなところが簡単に説明し、本物に出会うのを楽しみにさせる。</p> <p>○カードを協力し合って片付けるように指導する。</p>